

令和7年度 第1回志木市スポーツ推進審議会 会議録

令和7年7月30日

開 閉 日 時	令和7年7月30日（水） 16時 開会 17時15分 閉会
開 催 場 所	志木市役所 大会議室3-3
出 席 委 員	木下 和夫 上原 京子 飯田 路佳 佐々木 宰 金子 裕佑 (計5人)
欠 席 委 員	大石 裕弘 島村 直人 志村 智 高橋 良和 星野 賢 (計5人)
来 賓	なし
説明及び 出席職員氏名	柚木教育長 今野部長 土崎課長 間船主査 新井主任 (計5人)
傍 聴 人	なし
議 題	議事 (1) 部活動における国の動向について (2) 志木市部活動地域展開について 報告 キッズチャレンジスポーツの実施報告 その他 秋ヶ瀬スポーツセンター等再整備の進捗について
審議内容（審議経過、結論等）	

1 開 会

2 任命状交付式

3 あいさつ

4 議 事

(1) 部活動における国の動向について

令和7年5月16日付けでスポーツ庁および文化庁より「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動に関する実行会議」の最終とりまとめが示された。

改革の理念及び基本的な考え方として、①将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実する、②学校における働き方改革の推進を図ることや良質な指導等の実現を考慮する、③学校単位で部活動として行われてきたスポーツ・文化芸術活動を、地域全体で関係者が連携して支え、生徒の豊かで幅広い活動機会を保障する、④地域クラブ活動においては、教育的意義を継承・発展させつつ、新たな価値を創出する。の4点が示され、以前の「地域移行」から「地域展開」に名称が変更されている。

主な内容としては、休日については、次期改革期間内（前期：令和8年～10年度 ⇒ 中間評価 ⇒ 後期：令和11～13年度）に原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指すこと、具体的には、前期の間に確実に休日の地域展開等に着手することが示されている。また、平日については、各種課題を解決しつつ更なる改革を推進すること、具体的には、前期において活動の在り方や課題への対応策等の検証を行ったうえで、中間評価の段階で改めて取組方針を定め、更なる改革を推進するよう示されている。

これを受けて、志木市においては、休日に部活動を実施している種目を対象に、地域クラブの発掘を行っていくことを考えている。

(2) 志木市部活動地域展開について

先ほど、国の動向を説明したが、志木市の場合で休日の部活動を地域に展開したら何が課題になるのか話したい。

現在、部活動においては平日は1日の活動時間は準備・後片付けを含めて2時間以内で実施、休日は3時間以内で実施している。また、地域クラブ活動として、剣道連盟、柔道連盟における活動の範囲内で中学生の参加を試行的に行っている。

今後、休日における部活動地域展開後は、部活動においては平日はこれまで通り1日の活動時間は準備・後片付けを含めて2時間以内で実施、休日はなし

を検討している。また、地域クラブ活動として、休日は1日3時間程度で公共施設または学校施設を拠点に活動、平日は地域クラブの実情にあわせて順次実施を検討している。

なお、休日の部活動地域展開スケジュールを仮に想定した場合、令和8年度においては剣道、バスケ、ソフトテニスを試行的に実施、令和9年度においては卓球、陸上、ソフトボール、野球を試行的に実施、令和10年度においてはバドミントン、サッカー、バレーボール、吹奏楽を試行的に実施することを考えている。

また、学校部活動および地域クラブ活動の仕組みとしては、原則、学校部活動と地域クラブ活動はそれぞれ別の活動とすること、当面の間生徒は両方の活動に参加できることを検討しており、地域クラブにおいては、練習に加え、各種大会に参加することができることを想定している。

委 員) 柔道・剣道は試行実施しているのではないか。

事務局) 地域展開のスケジュールに掲載しているのは、休日に部活動がある種目のみである。そのため、柔道は載せていない。

委 員) 部活動に入っているのは、生徒のうちどのくらいの割合なのか等を把握し、生徒のスポーツに対する思いが失われないよう、市としてどういったフォローができるのかを検討していくべきと考える。

事務局) 以前と比べると部活動加入率は減っているが、現在部活動としてない種目、例えば柔道やダンスなども土日活動可能な地域クラブがあれば、検討していきたい。

委 員) 中学でもレベルの高いところでやりたい生徒もいれば、楽しみたいという生徒もいる。また、部活動の顧問でも今後も活動を続けていきたいという熱意のある人もいる。さらに、保護者で今後の志木市の部活動を心配している人も多い。

事務局) 現在、部活動を実施している生徒等の思いを大切に、部活動を柱として、前期(令和8～10年度)は魅力ある地域クラブの創出に努めればと考えている。

委 員) 最終的には、ニュースポーツ等の活動を行う地域クラブが立ち上がることも考えられるのか。

事務局) 生徒の選択肢を増やすという観点より、今後検討していきたい。

委 員) しばらくは部活動と並行してやっていくとのことだが、大会の在り方は？

事務局) 種目によって中体連のルールが異なる。地域クラブが大会に参加できる仕組みは実情にあわせてになる。

委 員) 楽しむことと強くなりたいことが混在すると、チームとして機能しなくなる可能性があるので、活動の目的別に地域クラブが創出されれば、生徒の選択肢を増やすことができる。

事務局) 最終的には、いろんな価値観の地域クラブが創出されればよいと考える。

委 員) 中学校の野球大会は、平日に開催されており、公立や私立、クラブチームが

競い合うカタチで実施されている。

委 員) 埼玉県運動部活動インターンシップという県が実施する取組みでは、将来、教員を目指す大学生に指導実践の機会を提供している。これに限らず、大学は地域連携に積極的なところが多いので、関心のある方にアプローチして指導者を確保するという手法も考えられる。

事務局) サッカーなどの種目においては、指導者の確保が懸念されることを踏まえると、そのような確保策も考えたい。

委 員) 命に直結する活動なので、指導する人の資格の見極めは重要。

委 員) バスケットに関しては、本気でやりたい生徒はすでにクラブチームに加入して、遠いところに通ってやっている。一方で、楽しみたい生徒も存在する。

事務局) セントラルは部活動等に関して、何かしらやっているのか。

委 員) 水泳部の受け入れや、アリーナの空いている時間を利用して地域の同好会に時間貸ししたりしている。

5 報 告

キッズチャレンジスポーツの実施報告

第3期スポーツ推進計画に基づき、子どもたちのスポーツにおけるきっかけ作りとして、令和7年6月1日（日）に志木市民体育館でバスケットボールを実施した。対象は市内在住・在学の小学生で89名参加し、ドリブル・シュートなどの練習やハーフコートゲームを実施した。

委 員) バスケットは人気なのか。

事務局) 昨年度のチャレンジスポーツではスケボーを実施したが、その際にほかにやってみたいスポーツのアンケート調査を実施したところ、バスケットが多かった。

6 そ の 他

秋ヶ瀬スポーツセンター等再整備の進捗について

老朽化している秋ヶ瀬スポーツセンター等の再整備について、現在は解体工事に向け、仮事務所をオープンさせたところである。また、6月議会閉会に伴い、7月24日付けで現秋ヶ瀬スポーツセンター解体工事の契約を締結したところであり、令和9年度のオープンに向け、着実に進んでいる状況である。

7 閉 会